特集3

つながる、広がる！学生の挑戦を支える「サポーター企業」

サポーター企業の詳細はこちら▲

学生の「やりたい！」を、企業の「力」でカタチに。

金沢市では、平成24年9月より、「学生のまち推進」を支援する企業を募集し、企業による支援体制を構築するため「学生サポーター企業登録制度」をスタートしました。現在35社（R8.7時点）が登録されており、登録企業には、学生のまちの推進事業に対して、資金、物品、人材、施設等の提供など、できる範囲でのご協力をいただいています。



＼学生主催のイベントをサポーター企業が応援／

令和７年の「まちなか学生まつり」では、メープルハウス様から「ワッフルメーカー」を、金澤神社様から「テント」をご提供いただきました。令和６年にも、株式会社イイダ様からは、パンケーキ用の「食材」を、橘建設様からは、出店用の「テント」をご提供いただき、大充実のイベントとなりました！







▲7月に行われた登録証交付式の様子

頼もしいパートナーが仲間入り！新たに２社が登録されました。

今年７月、新たなサポーターとして、「株式会社Asian Bridge」と「宏州建設株式会社」をお迎えしました。学生サポーター企業は、随時募集しておりますので、学生の活動を応援したい企業の皆様は、ぜひご登録ください。

株式会社Asian Bridge

東京本社、金沢市・富山市にてアプリ・システム開発を行い、2017年に金沢LABを設立。地域に必要なサービスを創出しています。「すべての人々が平等にチャレンジできる社会を実現する」をミッションのもと、採用・コミュニティ事業などを展開しています。

☑学生に対して協力できること
事業相談、講師、機材貸し出し等

☑具体的な協力の内容（人材派遣）
学生団体からの相談に対し、さまざまな制約のある中で、外部団体といかにプロジェクトを魅力的に進めるか、プロの視点から実践的なコラボ企画や運営のアドバイスを行いました！

宏州建設株式会社

金沢市内に本社を構え、「建築」「不動産」「住宅」「リフォーム」の４つの事業を展開する総合建設業。公共・民間双方で豊富な施工実績を有し、地域の暮らしを支える社会インフラづくりに取り組んでいます。

☑学生に対して協力できること
イベントへの協賛金

☑具体的な協力の内容（資金提供）
11月に実施予定の学生団体が主催するお祭りについて、活動をさらに盛り上げるための協賛金を提供する予定です。
学生たちの若いエネルギーを全力で応援します！

学生団体とサポーター企業との交流会を開催！

学生と企業の双方が「今どんな活動をしているか」「どんな協力を求めているか」を直接語り合い、マッチングを円滑に進めるための交流会を開催しました。学生13団体と企業７社が参加し、活発な交流が行われました。当日は交流会に先立ち、「協働のまちづくりチャレンジ事業」の学生公開プレゼンテーションも開催され、企業の方々には学生たちの創意工夫あふれるアイデアに耳を傾けていただき、今後の協働に向けた温かいアドバイスや提案をいただきました。この出会いをきっかけに、学生と企業の新たなコラボレーションが生まれることを期待しています！







【お問い合わせ】協働をすすめる市民会議事務局（金沢市市民協働推進課内）【発行元】協働をすすめる市民会議
☎076-220-2026　✉kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

金沢市協働通信 いいねまちづくり バックナンバーはこちら▶

金沢市協働通信 vol.19

いいねまちづくり

協働のまちづくりチャレンジ事業 学生・高校生部門
公開プレゼンテーション＆企業との交流会の様子

Q 協働のまちづくりチャレンジ事業とは？

NPO等の市民団体や学生団体などから、創意と工夫にあふれるまちづくり企画を提案していただき、市民と行政が協働して取り組むものです。学生・高校生部門は今年度８団体が採択されました。







特集1 協働をすすめる市民会議の紹介！
市民会議を構成する市民活動団体と学生団体の活動をお届けします。

特集2 市民活動サポートセンターってなに？
コーディネーターが、あなたの「やりたい」に寄り添います！

特集3 つながる、広がる！学生の挑戦を支える「サポーター企業」
新たなパートナーと学生団体との交流会の様子をお届けします。

特集1　協働をすすめる市民会議の紹介！

協働をすすめる市民会議は、平成18年に設置した「自主的かつ自発的な市民参加及び協働による姿勢を推進するための組織」です。第11期の委員数は17名で、地域団体の役員や市民活動団体の代表、学識経験者のほか、公募委員の皆さんで構成されており、「協働のまちづくりチャレンジ事業」の運営等を行っています。今回は、委員が所属する学生団体と市民活動団体をご紹介します。

金沢まちづくり学生会議（委員：末本 結子さん）

Instagram

団体紹介

学生会議は、金沢市と協働で「学生のまち・金沢」を推進しており、今年度で第17期を迎えました。現在約80名の学生が在籍しており、学生ならではの視点からアイデアを出してまちづくりに取り組んでいます。他団体とのコラボ企画や地域との連携活動など、毎年多くの活動にチャレンジしています。





今年の活動

4月には、OPENCITY in KANAZAWAという新1年生歓迎イベントを行いました。“たった1日で金沢を好きになる”をコンセプトに、遊びやまち歩きを通して、歴史・文化・食などの金沢の魅力を体験してもらいました。7月には、学生のまち市民交流館にて「ぎゅぎゅっと夏まつり」の運営を行いました。縁日ゲームや体験ブースの運営を通して、多くの子どもたちの喜ぶ姿を見ることができました。9月には、木倉町商店街の秋祭りで屋台やステージ企画を行います。11月には、金沢市役所庁舎前広場にて、「まちなか学生まつり2026」を開催します。今年度は様々な大学の学生が集まって、“合同学園祭”を実施する予定です。この「まちなか学生まつり」では、毎年多くの企業の方にもご協力いただいて開催しています。このような活動以外にも、年間を通じて様々な活動を行っていますので、詳細はInstagramをぜひご覧ください！

Five Colors（委員：岩崎 瑞生さん）

Instagram

団体紹介

Five Colorsは、加賀友禅の五彩にちなんで名付けられた金沢大学の学生団体です。「つながりの創成」を理念に、自ら地域に出て企業や地域で活動する方々と協働し、まちあるきイベントやワークショップなど様々な活動を展開しています。







今年の活動

今年度は、金沢市中心部で怪盗をテーマにした謎解き型まちあるきイベント「消えた5つの色と5人の怪盗ーまちあるき大捜査ー」を開催したほか、「かなざわ・まち博2026」ではカードを使ったまちあるきイベントを企画・運営し、小学生親子を対象に金沢の魅力を楽しく発見してもらう機会をつくっています。また、羽咋市では、擬音石像の魅力を広めるため、これをモチーフにしたフォトフレームづくりワークショップをLAKUNAはくいで実施しました。輪島市では白米千枚田愛耕会の方々とともに、空き家活用の検討や農作業ボランティアにも取り組んでいます。今後も企業や地域の方々との協働を大切にしながら、金沢や能登の地域資源の魅力を学生ならではの視点から発信していきます。

一般社団法人コード・フォー・カナザワ（委員：雄谷 峰志さん）

Facebook　Instagram

団体紹介

Code for Kanazawaは地域課題をITとデザインで解決していこうというシビックテックコミュニティです。シビックテックとは、シビック（Civic：市民）とテック（Tech：テクノロジー）をかけあわせた造語で、市民がITなどのテクノロジーを活用して、地域課題を解決する取り組みを指します。2013年、日本初のシビックテック団体としてCode for Kanazawaが設立されたことを契機に、全国へシビックテックの取り組みが広がりました。現在では、地域課題の解決につながるさまざまなアプリやサービスが各地で開発されています。金沢市公式ごみ分別アプリ、「いいね金沢　5374App（ゴミナシアップ）」も、実は私たちが開発、運用しています！

今年の活動

原則として毎月第2木曜日に、誰でも無料で参加できるイベント「Civic Hack Night（シビックハックナイト）」を開催しています。エンジニアやデザイナーをはじめ、行政職員、地域課題に関心のある方、主婦、学生など、さまざまな立場の市民が集まり、身近な地域課題やシビックテックについて意見を交わしたり、課題解決につながるものづくりに取り組んだりする場です。





特集2　市民活動サポートセンターってなに？

詳細はこちら▲

市民活動サポートセンターは、
地域活動・市民活動をもっと知って、活動をパワーアップさせるための施設です。

コーディネーターによる相談等

経験豊富なコーディネーターが相談に応じます。オンライン相談や派遣の相談も可能です。

講座や交流会の開催

団体の育成、運営を支援するための講座や団体間の連携を促進するための交流会を開催します。

外部アドバイザーの派遣

中小企業診断士や広報・情報発信、ICT活用等の専門家をアドバイザーとして派遣します。

対話の場への保育者の派遣

地域団体、市民活動団体等の会議や活動に伴う対話の場へ保育者を派遣します。



コーディネーターにご相談ください！

多様な団体を知り尽くしたコーディネーターが、あなたの「やりたい」に寄り添います！

「活動の始め方は？」「もっと規模を広げたい！」といった日頃の疑問や困りごとに丁寧に応じます。

地域や団体がうまく手を取り合うために、本当に大切なポイントを熟知しています。

異なる団体同士の連携には信頼関係が不可欠ですが、最初の対話は難しいもの。コーディネーターが間に入り、円滑な対話をお手伝いします。

まずはお気軽にご相談ください！

対応事例1

公民館から学生団体と連携して講座を実施したいと相談があった。防災がテーマの学生団体を紹介し、マッチング。企画会議から議論を重ね、互いの強みを活かし合う関係に。

対応事例2

ボランティアをしたい高校生から相談があった。ヒアリングを通してニーズを明らかにし、いくつかの団体を紹介した。推薦入試にて、これまでの活動として語ることができたそう。

コーディネーター紹介



中田 明秀（なかた あきひで）

【主な相談対応】
・地域との協働活動やデジタルを活用した広報支援
・若者の就活やキャリア形成の相談
・産学連携の企画・事業運営支援



水本 協子（みずもと きょうこ）

【主な相談対応】
・多世代や地域による協働型まちづくり
・交流関係人口、観光、特産品、防災の支援
・課題に応じた講座やイベントの企画支援



多橋 和輝（たばし かずき）

【主な相談対応】
・ボランティア活動への参加や人材募集
・学園祭運営に向けた他組織との調整
・学生団体の組織体制や運営への助言



村木 照太朗（むらき しょうたろう）

【主な相談対応】
・ワークショップやイベントの企画支援
・若者の関心に合わせた活動参画支援
・地域と学生による協働でのまちづくり



森田 綾（もりた あや）

【主な相談対応】
・助産師会など多職種との連携調整
・行政や企業と連携した子育て支援
・メンバーの温度差を埋める役割分担

市民活動サポートセンターやコーディネーターについてもっと詳しく知りたい方は、ホームページまたは公式Instagramをご確認ください！

ホームページ▲　Instagram▲

金沢市市民活動サポートセンター



金沢市片町2丁目5番17号
（金沢学生のまち市民交流館内）
TEL：076-225-7763
FAX：076-255-0164
Email：
support_center@city.kanazawa.lg.jp

利用案内

●開所時間
午前10時から午後10時まで

●休所日
毎週月曜日／年末年始（12月29日～1月3日）
（月曜日が休日の場合はその直後の平日）

アクセス

●北陸鉄道バス
片町（片町きらら前）下車　徒歩2分

●お車でお越しの場合
長町観光駐車場の一部が利用できます。
※詳細はお問い合わせください。